

かがやく

女性の視点で 防災力

身を守る

いのち
を守る

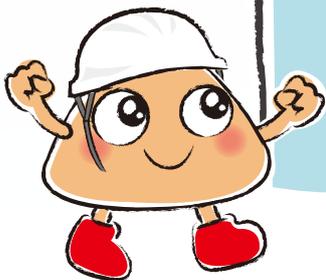
自然
を守る

家族
を守る

財産
を守る

ライフライン
(電気・水道・ガス)
を守る

インフラ
(道路・交通網)
を守る



サンカクちゃん

我孫子市は千葉県で唯一の
男女共同参画宣言都市です

P4…〈連載〉その道のプロにきく File No8

護身武道の先生にききました

力が弱くても実践できる護身術

P4…我孫子市の男女共同参画情報

女性の視点で防災力

東日本大震災から6年。地震、水害、火災といった大災害は各地で毎年起きています。防災の重要性は誰もが理解しているはずですが、日常生活の中ではだんだんと意識は薄れてしまいがちです。

そこで、今回の「かがやく」では、日ごろ備えておくべきこと、万が一の時のために、特に女性や子どもが身を守るために必要なことを考えてみました。普段のちょっとした心がけや行動がいざという時に運命を大きく左右します。もう一度、身近な方とも話し合ってみましょう。

防災とはまず「いのち」を守ること

家族で助け合おう

■身近に起き得る災害を知っておく

ハザードマップなどで住んでいる地域の特徴を把握しておく、被災のリスクを減らすことができます。

■避難所の場所と経路を確かめておく

実際に歩いてみると途中の危ない箇所気づいたり、別のルートを知っておく手だてになります。

■家の中の安全を確保する

阪神・淡路大震災では、家具の転倒・落下やガラスでけがをした人が大半だったそうです。家具の固定、ガラス飛散防止シートの利用など、「いつでもできる」と思うことはすぐに実行しておきましょう。

■数日分の備蓄をしておく

災害が起きた時に自宅が安全なら、避難所ではなく自宅で過ごすほうが安心です。非常食のほか、普段から食料や下着、衛生用品、薬等をやや多めに買っておきましょう。特にアレルギーのある方などは、いざという時に必要な物が入手できないリスクがあります。ただし古い方から使うこと！



ハザードマップを壁に貼っておこう!

体験学習に行ってみよう!



▲開放的な園内ではバーベキューも楽しめます

◆飯山さんおすすめの防災施設◆

東京臨海広域防災公園
国の災害応急対策の拠点として整備された広域防災公園で、その中に防災体験学習ができる施設「そなエリア東京」があります。「東京直下 72h TOUR」は、首都直下地震の発生から72時間の生存力をつける体験学習ツアーで、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学びます。
東京都江東区有明 3-8-35
<http://www.tokyorinkai-koen.jp/>

用語check!

防災士とは… 自助・共助・協働を原則として、社会のさまざまな場で被災と防災力向上のための活動が期待され、そのための十分な意識・知識・技能を有する者として日本防災士機構が認証した人。

自主防災組織とは… 「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念に基づき、地域住民が自発的に防災活動を行う団体(組織)。ほとんどが町内会や自治会単位で結成されていて、我孫子市では昭和56年にはじめて湖北台10丁目に組織されました。現在、市内には134の団体があります。災害が発生した場合に情報収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導、避難所運営(給食・給水、清掃等)、二次災害防止のための見まわりなど、自発的な防災活動を行います。

地域で助け合おう

■防災訓練に参加する

人は体験していないことはなかなかできないものです。被災時により正しく迅速な判断ができるよう、疑似体験をしておくことは大切です。

地域の防災訓練に参加することは住民同士の交流にもなり、災害時に助け合うことができる人間関係を作れます。



我孫子市総合防災訓練の様子

初期消火訓練

給水訓練で水の重みを体験。大きな容器で給水しに行くと、帰りに重くて運べないので、2リットルペットボトル2本を持って並ぶのがよい。



▲応急給水訓練



▲自然災害体験車



▲降雨体験車

■避難所では主体的に助け合う

災害時の避難所では、高齢者・子ども・妊婦・障害者などさまざまな人が一緒に過ごすことになり、必要な支援もそれぞれ異なります。お互いの状況を理解し、助け合いの精神で話し合うことが大切です。

特に女性は着替えや授乳など、プライバシーに配慮する必要があります。また、悩み事も女性のほうが察したり聞きやすい場合もあるので、女性が発言しやすい雰囲気作りがより良い避難所運営には欠かせません。



避難所運営訓練の様子

▲間仕切り ▼トイレ(下)等資器材設置訓練



サンカクちゃん 備えあれば…の巻



参考：防災ガール bosai-girl.com

男性と女性では目の向く所が違います。だから防災や被災の現場での女性の積極的な参画が求められています。

防災で活躍する女性たち

★こちら我孫子市消防本部。私たち、がんばってます!★

市の消防吏員(階級を有し制服を着用し勤務する消防職員)155人中、女性は3人。全国平均でも女性比率はわずか2.5%で、男性が圧倒的なのは我孫子市に限ったことではありません。そんな中で頑張る市の女性3人は「もっと職場に女性の仲間がほしい」と口をそろえます。

救急救命士の資格を持つ今井良恵さんは、救助した女性から「助けに来てくれたのが女性でよかった」と喜ばれたことがあるそうです。「女性が急病で119番する場合、対応する側が女性だと症状の判断が付きやすいことがあります」と根本亜紀さん。山岸由里佳さんは「消防にも防災にも、男女問わず自分の能力を生かせる場が必ずあります。災害は誰の身にも降りかかってきます。私たちといっしょに地域の防災力向上を図りましょう」と話しました。

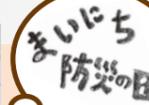


左から救急隊員の今井さん、総務課の根本さん、予防課の山岸さん

防災で活躍する女性たち



飯山 初美さん
我孫子市自主防災組織連絡協議会会長・防災士
▼飯山さん手作りの柴崎台自治会の防災情報紙



本特集は飯山さんにご協力を得て編集しました。ありがとうございました。

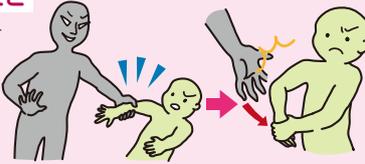
Q 今春、小学校に入学する子を持つ母親です。初めての徒歩通学、つい心配になります。子どもにも実践できる護身術を教えてください。

A 不審者に出遭い身の危険を感じたら、まず大声を出してください。恐怖で声が出ず、フリーズ状態に陥ると相手の思うつぼです。また泣きじゃくってしまうと、黙らせようと凶行に出られるかもしれません。「やめろ!」「助けて!」等と威嚇する勢いで声を上げて不審者をひるませ、全力で逃げましょう。もし捕まってしまったら、右図の方法で振り払ってください。力が弱くても無理なく行えます。

とっさに声を出す・振り払うためには、訓練もさることながら、勇気と自信が必要です。子どもを励ます家庭環境をつくり、冷静な判断力、的確な行動力を育むことも心がけましょう。

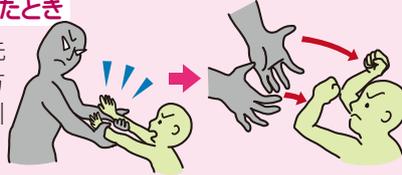
片腕をつかまれたとき

つかまれた腕の方の手を、もう一方の手で握り、肘打ちの要領で引き抜く。



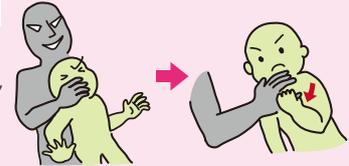
両腕をつかまれたとき

相手の親指の先が向いている方向へ、両腕を引き抜く。



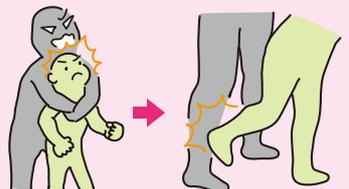
口をふさがれたとき

指はがし：相手の小指をつかんで引っぱり、外側へはがすようにする。



背後から抱きつかれたとき

顎や顔面に頭突きする。踵ですねを蹴る。



回答者：小林恵一さん(右：NPO法人全日本護身武道連盟理事長・護身武道小林会館長)、長島久徳さん(左：同連盟理事・同会東葛飾道場長)
長年にわたり、武道の高段位師範として、多数の会で研究・指導にあたる。毎週水曜夜は、我孫子中学校武道場で練習会を行っており、子どもから大人まで幅広く門戸を開いている。

不審者などに目つけられたりからまれないために

- ・一人で出歩かない。
- ・防犯ブザーを身につける。
- ・礼儀正しさを身につけ、反感を買わないようにする。
- ・護身の心がまえ(負けない、最後まであきらめない)を持つ。

我孫子市の男女共同参画情報

グラフで見るキーワード

男女共同参画の視点からの防災

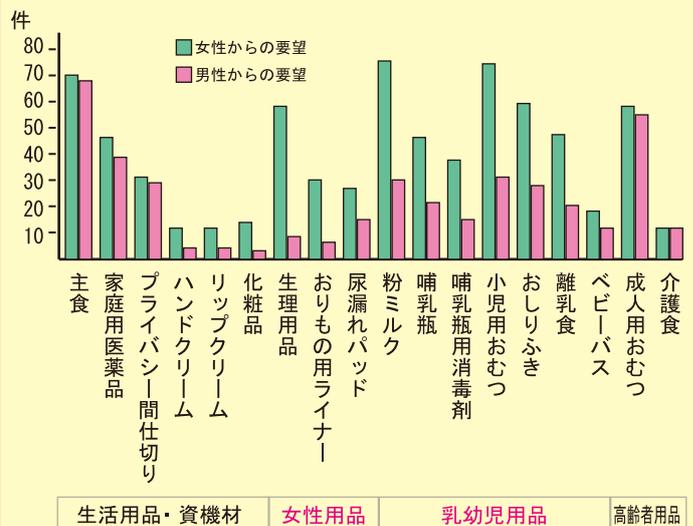
市は2月14日、「男女共同参画の視点からの防災」について職員研修を行いました(右写真)。内閣府が作成したプログラムに基づき、全国11自治体で試行されたもので、千葉県内では我孫子市が初開催でした。研修では、講師の服部和彦さん(内閣府男女共同参画局・課長補佐)から、災害から受ける影響や支援ニーズが男性と女性では異なること、防災に関する意思決定の場は、男性が中心であることなどの説明がありました。

たとえば、東日本大震災時の備蓄や支援物資に対するニーズを見ると(右図)、粉ミルク、小児用おむつ、おしりふき、離乳食などの乳幼児用品について、女性からの要望が圧倒的に多くなっています。もし必要な備蓄について検討する場や、避難所の運営を決める場に女性がいて、その意見が反映されれば、避難所での乳幼児への配慮がより行き届きそうです。

女性も「守られる側」だけでなく、男性とともに「守る側」として防災の意思決定に参画することが望まれます。災害に強い地域社会をつくるには男女双方の視点からの対策が大切です。



備蓄や支援物資に対する要望(男女別、複数回答)



内閣府「平成24年版男女共同参画白書」より作成

ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽に男女共同参画室までお寄せください。

我孫子市男女共同参画情報紙「かがやく」通巻32号 平成29年3月発行
◆発行：我孫子市 総務部 秘書広報課 男女共同参画室 〒270-1192我孫子市我孫子1858番地 TEL 04-7185-1752 (直) FAX 04-7185-1520
◆編集：有限会社マエダ印刷 〒270-1121我孫子市中峠1515 TEL 04-7188-2428